新庁舎建設特別委員会の概要（第２３回）

１　日　時　　第２３回　令和７年１月２４日（金）
　　１０時２０分～１１時２分

２　場　所　　第１議会委員会室

３　欠　席　　髙井実枝委員

４　内　容　　１　タウンミーティングと職員アンケートの結果報告について
　　２　その他

◆配布資料
・タウンミーティング結果概要
・職員アンケート結果報告書
・市民の声①
・市民の声②
・市民の声③

執行部よりタウンミーティング結果概要、職員アンケート結果について資料に沿って、詳細な説明を受けた。広報で募集した市民の声についても情報の共有があった。

１　タウンミーティングと職員アンケートの結果報告について
【主な説明内容】
〈タウンミーティング結果概要〉
4 回開催（12 月 7 日、12 月 8 日、12 月 12 日、12 月 17 日）、延べ 105 名参加。
複数日参加をされた方おり、実質 80 名の参加であった。
・災害、防災
現庁舎周辺、プラザちゅうたい周辺、大手町公園周辺において、「浸水・水害」の不安に対する意見があった。
畜産研究所は丘陵地にあることから、「土砂災害・地崩れ」の不安に対する意見があった。
・事業費
最も事業費が高い畜産研究所周辺は事業費に関する意見が多く、他の候補地よりも高い分を土地の取得費用にあてることや他の施設の整備に充てることができるとい

う意見があった。一方で、浸水リスクの低さや敷地面積が広く借地を要さないことから、長期視点では事業費は高くても問題ないという意見があった。

・立地条件

現庁舎周辺は既に市民から庁舎として利用されていることから場所が分かりやすいという意見があった。また、生涯学習センターと隣接しているため会議室や市民スペースを利活用できるという意見などがあった。

・駐車場

全体を通して駐車場用の借地に関する意見が多くあった。

借地は費用がずっとかかるため無くしたいという意見がある一方で、時代のニーズに合わせて借りる、借りないの選択があることから、融通が利くという意見があった。

・交通・アクセス

畜産研究所周辺は既に交通量が多く、新庁舎が設けられた場合の交通渋滞に対する不安な意見があった。

・市全体のまちづくり

現庁舎周辺は中山道、畜産研究所周辺は前平公園、大手町公園周辺は美濃太田駅周辺が庁舎と一体的に活用、開発できるのではないかという意見があった。

・公共施設の配慮

プラザちゅうたい周辺（体育館複合）は、費用面や体育館の建て替え時期、庁舎利用者と体育館利用者の利用時間の違いを考慮して複合化に賛成的な意見がある一方で、振動騒音等に対する不安や建設費が高くなることに対する意見があった。

・土地利用計画

畜産研究所周辺では、大規模な造成が必要な事について不安とする意見が多くあった。また丘陵地のため周辺道路から庁舎までの傾斜が大きいことを不安とする意見があった。

・事業の進め方

整備地決定のプロセスに対し、市民アンケートの必要性や職員意見の反映に対する意見があった。

〈職員アンケート結果報告〉

可能性調査の結果を踏まえ、新庁舎の整備にふさわしい候補地について、職員全体の傾向を把握するために実施した。

対象は美濃加茂市正職員全員で 351 名。期間は 12 月 3 日から 12 月 16 日まで行った。回収結果としては 322 名、92%となった。（市長・副市長・教育長の特別職および休職中の職員、会計年度任用職員は除く。）

・新庁舎の候補地について

プラザちゅうたい周辺 40.7%が最も高く、次いで現庁舎周辺 33.2%という結果となった。

プラザちゅうたい 40.7%のうち体育館複合が 67 名、庁舎単体が 64 名。

現庁舎周辺 33.2%のうち建て替えが 98 名、リノベーションが 9 名。

・年代別

10 代、20 代は全体と比較するとプラザちゅうたい周辺の割合が高く、畜産研究所周辺の割合が低くなっている。30 代、40 代は全体と比較するとプラザちゅうたい周辺の割合が低く、畜産研究所周辺の割合が高くなっている。

・新庁舎整備地として最もふさわしい候補地理由

全体：「車でのアクセスがよい」15.9%の割合が最も高く、次いで「公共交通機関によるアクセスがよい」14.1%、「事業費が抑えられる」13.8%となっている。新庁舎へのアクセス性の良さが選択理由の上位となっている。

現庁舎周辺：「事業費が抑えられる」の割合が最も高く、次いで、「車でのアクセスがよい」、「公共交通機関によるアクセスがよい」となっている。

プラザちゅうたい周辺：「車でのアクセスがよい」の割合が最も高く、「事業費が抑えられる」、「公共交通機関によるアクセスがよい」、「来庁者駐車場が便利」の割合も高くなっている。

畜産研究所周辺：「防災拠点として機能する」の割合が最も高く、その割合は他の候補地と比較し、高くなっている。「事業費が抑えられる」、「事業期間が短い」は選択されなかった。

大手町公園周辺：「公共交通機関によるアクセスがよい」の割合が最も高く、その割合は他の候補地と比較し、高くなっている。また、「市の各種計画との整合性がある」が他の候補地と比較し高くなっている。

・新庁舎候補地として選択しなかった理由

全体：「防災拠点として不安がある」16.7%の割合が最も高く、次いで「事業費が高い」15.1%、「交通渋滞が心配である」12.3%となっている。

現庁舎周辺：「防災拠点として不安がある」の割合が最も高くなっている。建て替えでは「来庁者駐車場が不便」が他の候補地と比較して高く、リノベーションでは「複数棟のため業務効率が悪い」の割合が高く、その他として「20 年後に建て替えが必要なこと」に関する意見が多くなっている。

プラザちゅうたい周辺：「事業費が高い」、「防災拠点として不安がある」、「交通渋滞が心配である」の割合が高くなっている。庁舎単体ではその他として「プラザちゅうたいの移転先」に関する意見が多くなっている。体育館複合では、「事業期間が長い」の割合が高く、その他として「複合施設のデメリット」に関する意見が多くなっている。

畜産研究所周辺：「事業費が高い」、「公共交通機関によるアクセスが悪い」、「交通渋滞が心配である」の割合が高くなっている。他の候補地と比較して「市の各種計画との整合性が乏しい」の割合が高くなっている。

大手町公園周辺：「職員駐車場が不便」、「公用車駐車場が不便」の割合が他の候補地と比較して高くなっている。職員駐車場および公用車駐車場が立体駐車場となることが懸念されている。

【委員会で出た主な意見】
〈委員〉公共交通機関で通っている職員はどこから来ているのか。
→昔は市内の職員が多かったが、市外の職員も増えてきた。県外から鉄道で通っている職員もいる。
〈委員〉プラザちゅうたい周辺と、現庁舎周辺が多いが、何を重視していくのか。
→6 パターンではなく、整備地を決定するための調査ということで、4 つで調整をしていきたい。その中で市の職員の結果から見ればプラザちゅうたいが一番高いという結果であると認識している。

【まとめ】
本日説明のあったタウンミーティング結果概要、職員アンケート結果報告書資料について、各自で読み込み、質疑については次回開催の新庁舎建設特別委員会にて行う。